

間文化現象学研究センター

ニルス・ヴァイトマン講演会 「人間存在の間文化的次元」

ドイツ・テュービンゲン大学のニルス・ヴァイトマン先生がこのたび来日され、京都にて研究滞在されます。間文化現象学研究センターでは、この機会にヴァイトマン先生の講演会を開催いたします。興味・関心をお持ちの方は、是非ご参加ください。

日時: 2024年3月6日(水) 16:30～
(90～120分程度)

場所: 末川記念会館第2会議室

講演者: ニルス・ヴァイトマン (テュービンゲン大学)

講演タイトル: 「人間存在の間文化的次元」
("The intercultural dimension of being human")

ニルス・ヴァイトマン先生(Dr. Niels Weidtmann)略歴

ドイツのヴュルツブルク大学で学位取得。専門は、間文化哲学、現象学的哲学、科学哲学。現在、テュービンゲン大学学際・間文化研究センター長、間文化哲学会会長。

著書(ドイツ語)に『間文化哲学——課題・次元・道』(2016年)、共編著(ドイツ語)に『現象学とプラグマティズム』(2019年)、『「間文化性の哲学」研究案内』(2015年)、共編著(英語)に『論理的経験論とプラグマティズム』(2017年)、ほか。

* 講演は英語でおこなわれ、日本語で補足する予定です。

* 本講演会は、対面とオンライン(Zoomを使用)のハイブリッド形態で開催されます。

オンラインでの参加をご希望の方は、前日(3日5日)までに以下のフォーム

QRコードからお申し込みください。

対面でご参加の方は、事前申込は不要です。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdRz6FwbbGJSq0gtEeTO8c86jk5hLNO8ZDTR5Vk46ecqmVNcg/viewform>

